

## 心豊かな子の成長を願って（トライアングル七月号）

校長 岡田 淳男

五月半ば、職員室北側に植えてあるササユリが白く大きく一輪咲きました。下校のために昇降口から出てきた子どもたちと観察しました。今年第一号です。つぼみはたくさんあり、これから順々に咲いていくと思われます。そばにはサツキの花もいっぱい咲いていて、何人かの低学年の子たちは、花びらをつんで口にくわえて蜜を吸っていました。誘われて、私もなめてみました。五月初めに咲いたツツジの蜜の甘さには及ばないものの、ほんのりと甘さが感じられました。別の子は、「カラカラ草」（その子が言っていた。）を手に持って振りながら音を聞いていました。「みんなの声がうるさくて音が聞こえない。」と言いながらも、そのまま持って帰りました。豊かな自然体験を持つ子どもは、規範意識が育っているという調査もあります。身の回りにある自然にふれあう機会を増やすとともに、命の不思議さを考える心の余裕がほしいと思います。

さて、本年度より、衛生面を考えて、学校のトイレ全てにスリッパを置くようにしました。「上靴からきちんとはきかえてくれるだろうか。」「脱ぎ散らかさないだろうか。」など、不安もありましたが、指導の徹底を図ることを確認してスタートしました。私は、時々様子を见到いっています。結構きれいにそろっていることが多いです。時には、出てきて上靴にはきかえる時、自分のはいた以外のスリッパもきれいにそれとれてくれる子の姿も見かけることもあります。人の見ていない所で、そっと人の役に立つことをしている気持ちがいいですね。ルールを守るといふことだけでなく、心豊かな子どもの育成にも力を入れていきたいと思っています。

### 今年度の重点課題

- ①豊かな人間性の育成のために、「ささえあうなま」を合い言葉になかまづくりに取り組む。
- ②わんぱくタイムでの活動を中心に運動好きを増やし、体力向上に取り組む。

- ③朝学習、自主学習の取組により、確かな学力の育成を図る。

研究テーマ「表現力を高める授業研究」

「外国語活動における指導の在り方の研究」

この三つの重点を実行するために、教職員が一致して支え合いながら、精一杯取り組んでいきたいと思えます。

今年度も地域、家庭、学校の連携を大事にしながら取り組んでいきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力をよろしく願います。